

Lenovo



Official Technology Partner

デジタルコアの モダナイゼーション

FIFAワールドカップのような大規模な環境を支える
インテリジェントなIT基盤の構築

Powered by



intel
vPRO

That's the power of
Lenovo with Intel Inside®

インテリジェント・ モダナイゼーションの背景

4年に一度開催されるFIFAワールドカップは、世界でも特に高い水準のIT運用が求められる環境のひとつです。FIFAは短期間のうちに、本部、地域オフィス、スタジアム、トレーニング施設、放送拠点に加え、16か所を超える大会専用の拠点にまたがって、完全に機能するデジタルワークプレイスを構築し、運用する必要があります。さらに大会終了後には、同じ水準の速さで環境を縮小することも求められます。ダウンタイムの排除、妥協のないセキュリティの確保、そして運用上の無駄や停滞を抑えた円滑な運用です。

**インテリジェント・モダナイゼーションとは、
個々のデバイスを個別に管理する方法から、
全体をひとつの仕組みとして管理・運用する
方法へ移行することを意味します。**

この規模になると、FIFAの環境では、従来のハードウェア中心のIT資産管理の手法に見直しの余地があることが明らかになります。複雑な在庫管理、混在する構成、手作業によるプロビジョニング、そして安定した環境を前提に設計されたサポートプロセスは、AI PCや急速な立ち上げ・縮小サイクル、さらに世界的に注目されるイベントに特有のセキュリティ要件を取り入れたワークフローには十分に対応できていません。日々の運用負荷を軽減することで、IT部門はモダナイゼーションやイノベーションに向けた余力をより多く確保できます。

3

アメリカ、メキシコ、
カナダの3か国で開催

16

16都市の
各拠点で開催

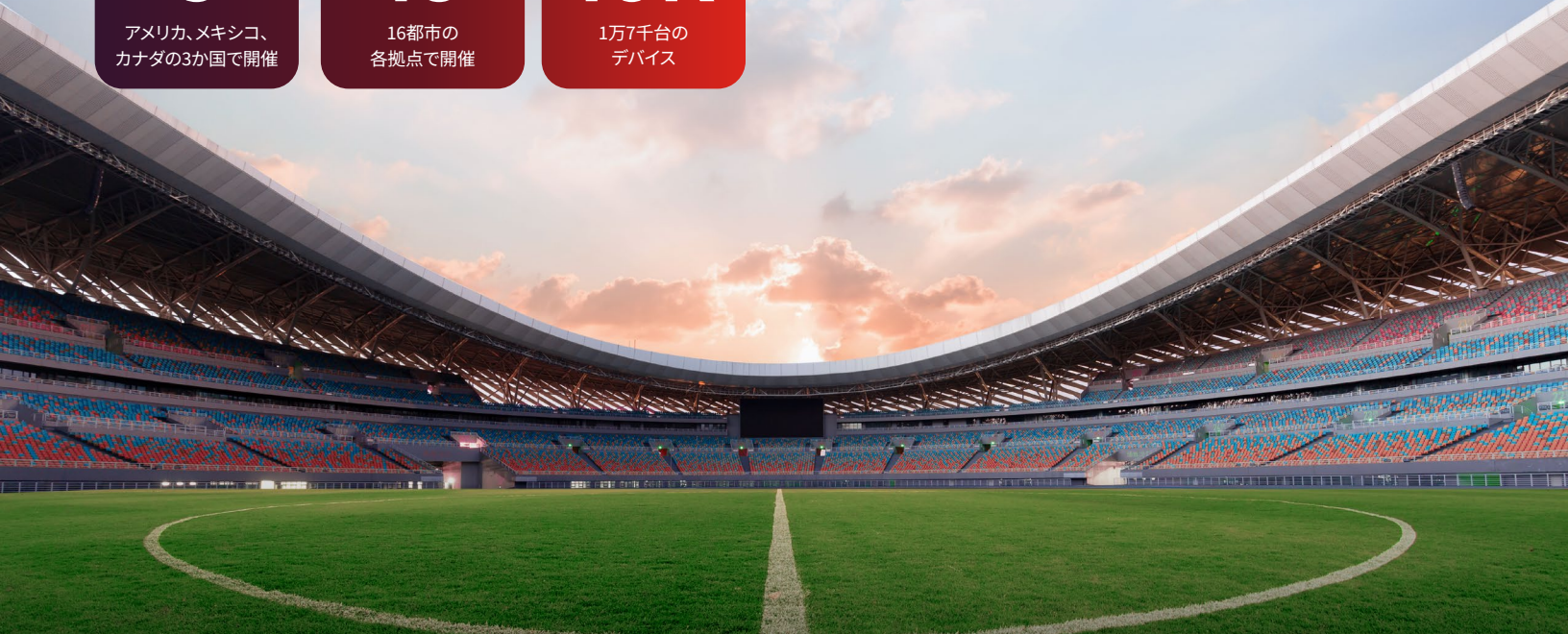
10K

1万7千台の
デバイス

継続的に改善を進めるために、FIFAは新しいデバイスの導入にとどまらず、運用モデルそのものの見直しにも注力しています。インテリジェント・モダナイゼーションは、この変化を示す考え方です。自動化により、これまで手作業で行っていた業務の流れが置き換えられていきます。運用データの収集により、リアルタイムで状況を把握できるようになります。システム全体を連携させて管理する仕組みにより、デバイス、ユーザー、サービスが一体となり、ひとつの適応型デジタルコアとして統合されます。

Lenovo デジタル・ワークプレイス・ソリューションは、運用基盤として機能します。Lenovo デジタル・ワークプレイス・ソリューションは、グローバルなサービス提供、デバイスの導入から更新・廃棄までの自動化、エンドポイント管理をひとつの一貫したモデルに統合し、FIFAがデバイスの初期設定や配備、保護、サポート、廃棄を大規模に行えるようにします。この仕組みの中で、インテル®搭載のLenovo AI PCはデバイス上で動作するAI機能を提供し、クラウドへの依存を減らし、新しいAI活用型の業務の流れを支援しながら、中央で一元管理されたポリシーによって継続的に管理されます。

FIFAの環境は複雑で要求水準も高いものですが、そこから得られる学びは幅広く応用できます。あらゆる企業が、働く場所の多様化、より速い更新サイクル、AIによる生産性向上とセキュリティへの高まる期待に直面しています。FIFAの経験は、モダナイゼーションがもはやハードウェアを更新するだけの話ではないことを示しています。それは、強い負荷がかかる状況でも安定して稼働し、自信を持って拡張できる、変化に対応しやすいデジタルコアを設計することです。



インテリジェント・ モダナイゼーションの基盤

インテリジェント・モダナイゼーションは、単一のテクノロジーやプラットフォームだけで実現されるものではありません。それは、システムとして連携する複数の機能が密接に統合されることで構築されます。FIFAの場合、成功は次の基盤にかかっています。AIを活用した自動化とデータ分析、変化の大きい環境に合わせて設計された新しいセキュリティ、そしてAI対応デバイスです。これらの基盤が一体となることで、FIFAのデジタルワークプレイスは、管理対象デバイスの集合体から、統合された柔軟な運用環境へと進化しています。

“

今年、見事に成功を収めた
FIFAクラブワールドカップで導入された
初期のテクノロジー革新は、
FIFAとレノボが今後数年間にわたり、
主要大会でともに切り拓いていく
新たな可能性を示しています。

ティト・スアレス・ディアス氏
FIFA テクノロジー部門 プロダクトおよび
ビジネスエンゲージメント責任者



デジタルコア全体にわたる、データと分析機能の統合管理

AIによるモダナイゼーションは、データと分析機能が大規模な運用に組み込まれて初めて価値を発揮します。FIFAと連携するLenovo デジタル・ワークプレイス・ソリューションは、デバイス、ユーザー、業務の流れ全体でAI機能を統合的に制御する管理基盤を提供し、Lenovo AI PCが孤立したデバイスではなく、統合システムの一部として機能するようにします。

Lenovo デジタル・ワークプレイス・ソリューションによる徹底したデバイス管理のもと、FIFAは革新性と統制を両立させ、AIによる生産性向上の仕組みを安全かつ迅速に導入しています。

Lenovo デジタル・ワークプレイス・ソリューションにより、自動化された初期設定と展開の流れが、時間のかかる手作業のプロセスに取って代わります。デバイスは一貫性を保ちながら、各拠点で事前設定、展開、再展開、回収が迅速に行われます。これによりFIFAは、統制やパフォーマンスを損なうことなく、大会に向けた迅速な立ち上げを実現できます。



運用データの収集とデバイス全体の状況把握により、AI PCはより広い運用モデルへ接続されます。エンドポイントからのリアルタイムの情報がLenovo デジタル・ワークプレイス・ソリューションに取り込まれ、デバイスの健全性、パフォーマンス、利用状況を継続的に可視化します。こうした情報により、IT部門は固定的な前提ではなく、実際の運用状況に基づいて、構成の調整、サポートモデルの見直し、パフォーマンスの最適化を先回りして行えます。

インテル®搭載のLenovo AI PCは、このデータと分析機能をエンドポイントへ直接広げます。デバイス上で動作するAI機能は、クラウド接続だけに依存せず、ローカルでの推論処理、意味に基づく検索、AI支援による業務の流れを支えます。これらのデバイスはLenovo デジタル・ワークプレイス・ソリューションによって完全に管理されているため、FIFAはイノベーションと統制のバランスを取りながら、AI対応の生産性向上を安全かつ迅速に導入しました。

このソリューションにより、FIFAはイノベーションと統制のバランスを取りながら、AI対応の生産性向上ツールを安全かつ迅速に導入できます。

最終目標は、柔軟に拡張されたデジタルワークプレイスです。そこではIT部門がインフラ管理に費やす時間を減らし、ビジネスを支援する時間を増やせます。同時にユーザーは、実際の働き方に合わせて設計された、より高速で応答性の高いシステムの恩恵を受けられます。

89%

.....

従業員がAIを効果的に活用できるようにするには、デジタル・ワークプレイスの変革が必要だと**89%**が回答しています。

単なる防御ではなく、継続して運用できる強さを設計する

グローバルな大会環境において、セキュリティの成功は継続性によって測られます。FIFAにとっての目標は、単に脅威を防ぐことではなく、場所、デバイスの移動、ユーザーの入れ替わりにかかわらず、運用を中断なく継続できるようにすることです。

インテリジェント・モダナイゼーションは、セキュリティを運用モデルに直接組み込むことで、この変化を可能にします。FIFAは、ばらばらのツールや拠点ごとの制御に頼るのではなく、ユーザーがどこで働いても追従する、役割に基づくセキュリティポリシーを採用しています。これにより、各会場で働くスタッフ、メディア、審判、VIP対応担当者の柔軟性を維持しながら、リスクを低減できます。

統合エンドポイント管理は、ITリーダーに対して測定可能な成果をもたらします。PC、タブレット、モバイルを含む数千台のデバイス全体で、一貫したセキュリティ態勢、設定のばらつきの低減、予測しやすいコンプライアンスを実現します。安全な初期設定とライフサイクル全体の管理により、主要システムから大会用の予備デバイスに至るまで、すべてのデバイスが強化・検証され、ライフサイクル全体で追跡可能な状態で運用に投入されます。

ユーザーの動きに連動する役割別のセキュリティポリシーを導入することで、FIFAはあらゆる会場での柔軟性を保ちつつ、リスクの最小化を実現しています。

インテル®搭載のLenovo AI PCは、効率的なオンデバイス脅威検知を通じて、これらの成果を強化します。セキュリティ関連の処理を専用のAIエンジンに振り分けることで、LenovoはFIFAと連携し、パフォーマンスへの影響を抑えながら、新たな脅威への応答性を高めます。自動パッチ適用、ポリシー適用、コンプライアンス対応の業務の流れにより、人為的ミスの可能性を最小化し、復旧を迅速化します。これは、変化が速くリスクの高い環境において重要な利点です。

最終目標は、単により安全な職場ではなく、継続して運用できる強さを備えた職場です。FIFAは、セキュリティが継続的に適用され、賢く管理され、ビジネスとともに変化に対応するよう設計されているという前提のもと、グローバル規模で運用する能力を強化しています。

90%

.....

90%もの人が、AIを悪用したサイバー犯罪者によるリスクに対処できる自信が「あまりない」と答えています。

Lenovo デジタル・ワークプレイス・ソリューションをご覧ください。

Lenovo デジタル・ワークプレイス・ソリューションが、グローバルなサービス提供、AI強化サポート、スマートコラボレーションソリューション、統合エンドポイント管理、インテル®搭載Lenovo AI PCをどのように統合し、企業の迅速かつ大規模なモダナイゼーションを支援するかをご覧ください。

Lenovoがワークプレイス運用をどのように再設計できるかをご覧ください >>



実践的なエンタープライズ・ロードマップ

バラバラなIT管理から、インテリジェントで適応力の高いワークプレイスへ。

IT部門の意思決定者が次に踏み出すべき具体的なステップを、チェックリスト形式でまとめました。

Step 1 : デジタルコアを評価する。

- ✔ すべてのエンドポイントに対して、リアルタイムで在庫を把握できる仕組みがありますか？
- ✔ ポリシーと構成は一貫していますか？それとも拠点や従来型ツールによって分断されていますか？
- ✔ デバイスライフサイクルのうち、どの程度が手作業に依存していますか？
- ✔ 環境全体で、デバイスの健全性、パフォーマンス、コンプライアンスを把握できますか？

Step 2 : 統合エンドポイント管理へ移行する。

- ✔ デバイスイメージと運用環境を整理・簡素化する。
- ✔ 役割と業務の流れに沿った明確なデバイスペルソナを定義する。
- ✔ 新しく標準化された初期設定と構成の基準を確立する。
- ✔ 設定のばらつきを解消するため、エンドポイント管理を集中化する。

Step 3 : ハイブリッドワークフローに向けてコラボレーションをモダナイズする。

- ✔ 部屋のレイアウトではなく、人の業務の流れを中心にコラボレーション空間を設計する。
- ✔ 会議室のテクノロジー、デバイス、構成を標準化する。
- ✔ オフィス勤務、リモート、ハイブリッドの参加者に一貫した体験を提供する。
- ✔ コラボレーションプラットフォームを、エンドポイント、デバイス、共有環境と同じ運用・サポートモデルに統合する。

Step 4 : すべてのライフサイクル段階に自動化を組み込む。

- ✔ 初期設定、展開、再展開の業務の流れを自動化する。
- ✔ 受付、切り分け、解決をつなぐために、ITサービス管理ツールを統合する。
- ✔ 自動パッチ適用、更新、コンプライアンス適用を可能にする。
- ✔ 刷新、再利用、廃棄のサイクルに沿って、デバイスを賢く振り分ける。

Step 5 : データ活用の基盤を確立する。

- ✔ デバイスとコラボレーションに関するリアルタイムの情報を提供する運用データ収集の方針を実装する。
- ✔ パフォーマンス、健全性、ポリシー遵守を監視する可視化基盤を展開する。
- ✔ データを活用して、構成とサポートモデルを先回りして調整する。
- ✔ 可能なところから、故障を予測した保守と自動復旧の業務の流れを導入する。

Step 6 : 継続して運用できる体制に向けて再設計する。

- ✔ 重要な役割向けのバックアップデバイス戦略を構築する。
- ✔ 影響度の高い業務の流れとコラボレーション環境に予備手段を持たせる。
- ✔ 設定可能でイベント対応が可能な展開モデルを設計する。
- ✔ リスクを増やさずに迅速な増強と縮小を行えるよう計画する。

Step 7 : ゼロトラストとAI活用の時代に向けてセキュリティをモダナイズする。

- ✔ 役割ベースの強化と、役割に基づくポリシーへ移行する。
- ✔ エンドポイントとコラボレーションデバイス全体にゼロトラストの考え方を適用する。
- ✔ パッチ適用、復旧、コンプライアンス対応のためのセキュリティ業務の流れを自動化する。
- ✔ 必要に応じて、新しいAI PC上でAI対応の脅威検知を活用する。



次のステージ

AI時代の企業経営が目指すべき、 業務オペレーションの最高峰の未来像

モダナイゼーションはもはや、デバイス刷新サイクルや個別のテクノロジー更新によって定義されるものではありません。組織がリアルタイムでどれだけ効果的に運用し、適応し、拡張できるかによって定義されます。働き方がより多様化し、AI活用が進み、時間的制約が厳しくなる中で、企業には単に機能するだけでなく、考え、応答し、継続的に最適化するデジタルコアが必要です。

FIFAの取り組みは、この変化を実践の中で示しています。インテル®搭載Lenovo AI PCを含むLenovo デジタル・ワークプレイス・ソリューションを中心にデジタルコアをモダナイズすることで、FIFAはグローバルIT環境を、仕事のためのインテリジェントなオペレーティングシステムへと進化させています。自動化が手作業のプロセスに取って代わり、運用データの収集がリアルタイムの可視化を提供し、セキュリティがデバイスライフサイクルの中にあらかじめ組み込まれることで、統制や一貫性を犠牲にすることなくAI活用型の業務の流れを実現します。

インテリジェント・モダナイゼーションは、明確な前進の道筋を示します。デバイス、プラットフォーム、サービスが統一されたシステムとして統合的に制御されると、組織はAI活用が進む世界で競争するために必要な俊敏性を獲得します。

デバイスからプラットフォーム、サービスまでを
一体のシステムとして統制することで、
IT部門の負担は軽減され、ユーザー体験は
向上し、企業はAI時代を生き抜くための
しなやかで迅速な対応力を獲得できます。

Lenovoのソリューションが世界で最も複雑なスポーツイベントの運用基盤として機能できるなら、あらゆる企業がよりスマートで、変化に対応しやすく、未来に備えたワークプレイスを構築する支援ができます。

Lenovoがモダンワークプレイスを どのように再定義しているかを ご覧ください。

FIFAワールドカップの全ストーリーをご覧ください、その背後にあるソリューションを知り、AIを活用したインテリジェント・モダナイゼーションを自社にもたす方法をご確認ください。

詳しく見る >>



¹Lenovo, [Lenovo AI Powers a World Gone Football™](#), 2026.

²Lenovo, [Work Reborn Research Series](#), 2025.